

大阪 QUINT BRIDGE との連携イベント 2024.5.17

当日のアジェンダ

10:00-10:05 冒頭挨拶（武田より今回の取組の意図の説明）

10:05-11:05 大洲市・地場企業の課題を共有

※「説明10分+質疑応答10分」×3（テーマ）＝60分

- ・テーマ1 観光プロモーション（マーケティング）の現況と課題
（（一）キタ・マネジメント＝認定DMO 担当：井上 本年度予定事業含め）
- ・テーマ2 大洲産品のブランド化と外販展開の現状と課題（商工産業課）
（大洲ええもんセレクションの現状を中心に）
- ・テーマ3 大洲市の環境問題（エネルギービジョンの観点から）への取り組み現況・課題
（環境生活課）

11:05-12:00 解決アイデアの発散ワーク

12:00-13:30 移動&食事

※各自自由昼食（再集合もO/C）

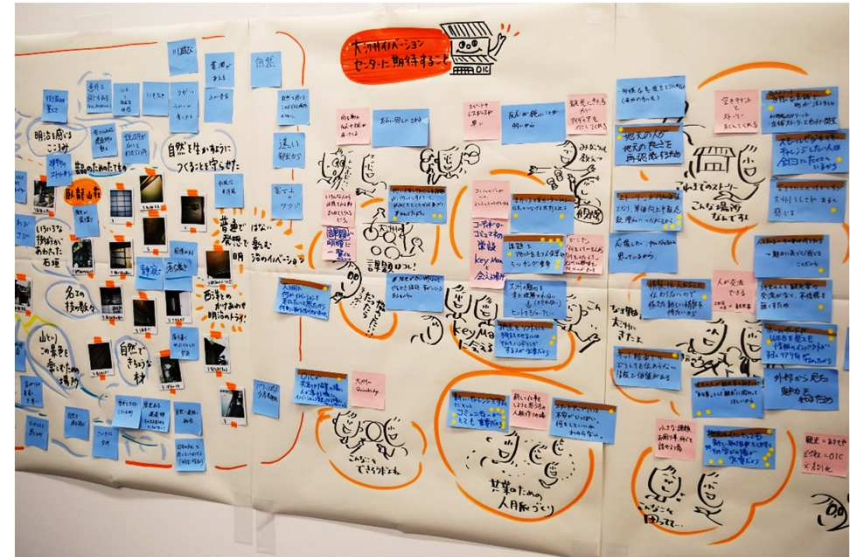
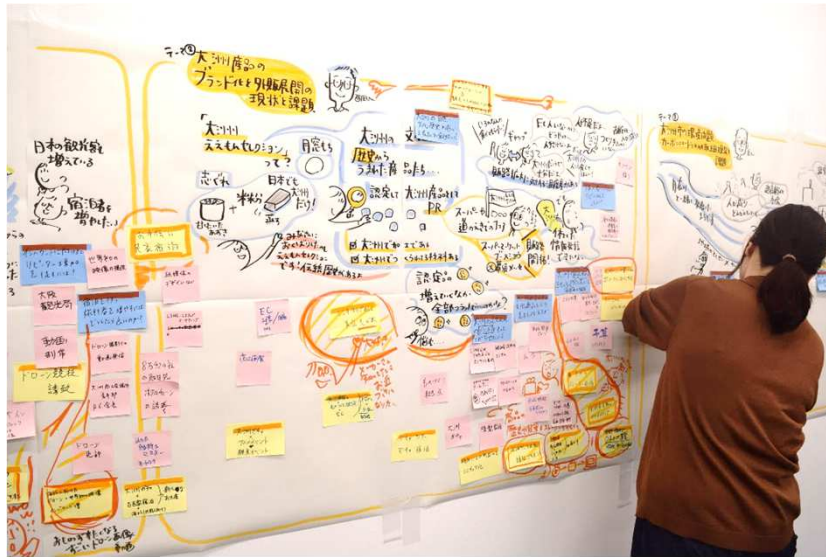
13:30-15:00 大洲市内ツアー

O/C⇒町並み視察⇒古民家再生ホテルの客室見学⇒臥龍山荘見学

⇒時間があれば思ひ出倉庫（昭和レトロ資料館）見学⇒O/C

15:00-17:15 大洲イノベーションセンター活用を考えるワークショップ

18:00～懇親会（QUINTの会員12名がほぼ全員参加）



QUINT会員12名は、旅費や宿泊費の全てを個人負担で参加していただきました。

地元YEGからも3名、その他地域おこし協力隊員等も加わってのセッションは、闊達な議論が交わされ、セッション後の懇親会にもほとんどのメンバーが参加してくれました。

午前のセッションでは3つの行政課題を取り上げて議論し、**午後のセッションではOICはどうあるべきか、この施設に何を期待するか、**という観点から意見を出し合っていました。

都会に負けぬスピード感で課題解決に挑めるきっかけを。
この地域の常識はよそでは非常識かも、という意識をもって臨む意識付けを。
様々な課題と、それに対するアセットを持つ企業とのマッチングを促進。
大洲の地で、仕事をもって生きていくための足掛かりを。

情報が集まり、人が集まり、ここへ来れば地域の人や特性について、何でも分かってしまう、そんな場所に！

大洲市民と市外からの来訪者との交流拠点として、とにかくホットな場所に！

高校生を始めとする若い起業家の学びの場として、頼れる人と知り合える場所として機能して欲しい

若い人、起業したい人、事業を展開・発展させたい人が集い、つながりのきっかけを得られる、大洲だからこそできる起業の足掛かりの場になって欲しい！